

第 20 回アジア競技大会モデル会場運営計画検討業務委託 基本仕様書

1 業務名

第 20 回アジア競技大会モデル会場運営計画検討業務委託

2 目的

第 20 回アジア競技大会（以下「本大会」という。）の競技会場は、大会コンセプトの一つである「既存施設の活用」の観点のもと、県内全体で本大会を盛り上げる必要性から、施設を所有する市町村の意向等を踏まえて、本大会での実施が決定しているオリンピック中核 28 競技のうち、調整の整った 35 競技会場の仮決定を 2019 年 10 月に行った。

本大会開催時、各競技会場には、選手・チーム役員、技術役員、VIP、放送関係者、報道関係者、観客等、多様なステークホルダーが来場する。各競技会場において、これらステークホルダーに対するサービス提供やセキュリティの観点から、それぞれに適切な諸室や動線、出入口等を設定するとともに、それらの計画について整合を図り、会場レイアウト等を策定することが必要となる。

本業務は、仮決定会場のうち、ウィングアリーナ刈谷及びウェーブスタジアム刈谷を含む刈谷市総合運動公園をモデルとして、既存の会場レイアウト案について課題等を整理するとともに、セキュリティに係る要件等を提案の上、それらを踏まえた会場レイアウトを VIP・VVIP 対応の観点を含め検討するものである。

3 委託業務内容

仮決定会場のうち、競技会場の運営に関し以下の項目及び内容を検討する。

<本業務の検討する項目及び内容>

(1) 会場レイアウト案の課題整理

発注者が作成した以下の資料を確認し、発注者と協議のうえ、日本国内で開催された又は開催が予定される国際競技大会（例：東京 2020 オリンピック競技大会、ラグビーワールドカップ 2019 等）の知見に基づき、主に諸室計画、会場ゾーニング及び動線計画の観点から「(3) 会場レイアウト作成」に向けた課題整理を行い、A4 判 10 ページ以内を目安として報告書にまとめる（必要に応じ、別に参考資料や図を添付することは可能とする）。

なお、発注者が提供する以下の資料は、初回打合せ時に発注者から受注者に対して説明を行う。

ア 会場レイアウト案

(ア) ウィングアリーナ刈谷（1～2階）

※実施予定競技：バスケットボール（5×5）

(イ) ウェーブスタジアム刈谷（1～3階）

※実施予定競技：サッカー

(ウ) 刈谷市総合運動公園（全体図）

※(ア) 及び (イ) の施設を含む公園全体

イ 必要諸室一覧

ウ 会場レイアウト案作成時のヒアリングシート

(2) 競技会場における各種セキュリティ項目の要件・仕様等の提案

本大会の競技会場におけるセキュリティに関し、次のアからキの項目について本大会における同項目の要件・仕様等を提案し、また提案の根拠を示す。提案方法については、日本国内で開催された又は開催が予定される国際競技大会（例：東京 2020 オリンピック競技大会、ラグビーワールドカップ 2019 等）の知見に基づき、セキュリティの考え方や対応事例等を整理し、発注者と協議を行うものとする。これらについて、各項目につき A4 判 1 ページを目安として対照表にまとめる（必要に応じ、別に参考資料や図を添付することは可能とする）。

- ア セキュリティフェンス設定範囲（高さ、材質を含む）
- イ 大会関係者、観客のソフトチェックポイント（SCP）
- ウ 大会関係者のアクセディテーションチェックポイント（ACP）
- エ 大会関係者、観客の手荷物検査場（PSA）
- オ 観客のチケットチェックポイント（TCP）
- カ 車両通行許可証チェックポイント（PCP）
- キ 車両検査場（VSA）

(3) モデル会場レイアウトの作成

(1) で整理した課題、(2) で整理した要件・仕様等を踏まえ、以下のとおり会場レイアウトを作成する。

なお、作成に当たり、警察や消防等の関係官庁への事前確認は不要とする。

ア 対象施設

次の3施設における会場レイアウトを1案作成する。

- (ア) ウィングアリーナ刈谷（1～2階）
※実施予定競技：バスケットボール（5×5）
- (イ) ウェーブスタジアム刈谷（1～3階）
※実施予定競技：サッカー
- (ウ) 刈谷市総合運動公園（全体図）
※（ア）及び（イ）の施設を含む公園全体

イ 必須記載項目

会場レイアウトには、少なくとも次の項目を反映し、図面上に示す。

- (ア) 大会運営に必要となる運営諸室及び仮設物
※運営諸室及び仮設物については、本仕様書別紙（想定諸室一覧）に記載の項目を図示するものとする。なお、受注者と発注者で協議の上、必要に応じ他の運営諸室及び仮設物を追加するものとする。
- (イ) ステークホルダー（選手・チーム役員、技術役員、VIP、VVIP、放送関係者、報道関係者、観客）別の動線
- (ウ) 各種セキュリティチェックポイント ※（2）ア～キに記載の各項目
- (エ) アクセスコントロールポイント
- (オ) VVIP 及び VIP 対応に関する要件については、初回打合せ時に発注者から受注者に対し別に示す。

(4) 業務スケジュール等の提出

受注者は、契約締結後7日以内に業務スケジュール及び業務体制表（任意様式）を作成し、提出しなければならない。

(5) その他

ア 事業全体の進捗管理等

・受注者は、発注者と以下のスケジュールで対面の打合せの機会を設け、事業全体の進捗管理を行うこと。ただし、発注者が認める場合は、一部又は全ての参加者がオンライン形式により参加できるものとする。

①令和2年12月11日（金）

②令和2年12月25日（金）

③令和3年1月15日（金）

④令和3年2月5日（金）

⑤令和3年2月26日（金）

⑥令和3年3月12日（金）

※想定スケジュールであり、発注者と受注者の協議により変更できるものとする。

・上記の打合せと別に、発注者と競技団体が実施する打合せ（2回程度）にオンラインで参加するものとする。

・トラブル等が発生した場合は、受注者の責任において、適切に対応すること。

イ 成果品の提出

(ア) 成果品

①会場レイアウト案の課題に係る報告書 ※3（1）関連

②セキュリティに係る参考大会及びアジア競技大会の対照表 ※3（2）関連

③会場レイアウト（1案） ※3（3）関連

(イ) 提出方法

・事業終了後、A4判の二つ折り製本の成果品を各10部及び成果品の内容を記録した電子媒体を2部提出すること。なお、電子媒体のファイル形式については、発注者と打ち合わせの上、決めるものとする。

・提出期限は、令和3年3月19日（金）、提出場所は、公益財団法人愛知・名古屋アジア競技大会組織委員会とする。

4 留意事項

(1) 受注者は、本業務の遂行にあたり知り得た情報については、管理・保管を十分行うとともに、発注者の許可なく他に漏らしてはならない（契約終了後も同様とする）。

(2) 本事業で発生する著作物の著作権は、発注者に帰属するものとする。

(3) 本業務にあたり使用する図表やデータ、画像などの著作権・使用権等の権利については、受注者において使用許可等を得ること。

なお、これらを怠ったことにより、著作権等の権利を侵害した場合は、受注者はその一切の責任を負うこと。

(4) 本業務の業務内容を変更する必要がある場合は、発注者と受注者が協議の上、適切に対応すること。

- (5) 仕様書に定めのない事項については、必要に応じて発注者と受注者が協議して決めるものとする。

想定諸室一覧

選手更衣室	サブプレスセンター	セレモニー準備室
審判員室	記者会見室	ケータリングオフィス
競技運営本部	メディアラウンジ	会議室
AF/IF 控室	ミックスゾーン	観客救護室
NF/LF 控室	ブロードキャストコンパウンド	総合案内所
選手医務室	HB 事務局	チケット売り場
ドーピングコントロール室	HB 用機材保管庫	グッズ売り場
VAR (ビデオ判定システム)	大会運営本部	飲食店
VRS (会場リザルトシステム) 室	運営スタッフ控室	スポンサーブース
VIP ラウンジ	放送室	倉庫
VVIP ラウンジ	警備本部	観戦席 (観客、報道、VIP、VVIP、選手・チーム役員等)
スポンサーラウンジ	警備・消防控室	駐車場・乗降場 (観客、報道、VIP、VVIP、選手・チーム役員等)
VIP 室	ボランティア控室	
VVIP 室	演出スタッフ控室	

※受注者と発注者で協議の上、必要に応じ他の運営諸室及び仮設物を追加する。